

ペンシクロンの食品健康影響評価に関する審議結果

についての御意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 平成20年9月4日～平成20年10月3日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 1通
4. コメントの概要及びそれに対する農薬専門調査会の回答

御意見・情報の概要	専門調査会の回答
<p>【意見】 ペンシクロンの一日摂取許容量（ADI）を0.053 mg/kg 体重/日と設定すべきでない。</p> <p>【理由】 日本農薬学会誌 13,163-166(1988)によると残留農薬研究所でのラットの24ヶ月慢性毒性試験で、無毒性量はオス 1.79 mg/kg となっている。</p>	<p>御指摘のラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験（投与量：0、50、500及び5,000 ppm）について、残留農薬研究所の評価では、雄の500 ppmを最小毒性量（LOAEL）と判断し、無毒性量（NOAEL）を50 ppm（1.79 mg/kg 体重/日）と判断したものとされます。</p> <p>一方、農薬専門調査会においては、500 ppm以上投与群の雄で「肝絶対及び比重量増加」の所見が認められましたが、①持続的な所見ではなかったこと、②絶対重量、比重量ともに10%程度と軽度な増加であったこと、③病理組織学的所見及び生化学的指標に毒性影響が見られていないことから、毒性影響ではないと判断いたしました。</p> <p>よって、本試験のNOAELは、18.4 mg/kg 体重/日（雄500 ppm）とし、より低い2世代繁殖試験（ラット）のNOAEL 5.3 mg/kg 体重/日を元に、一日摂取許容量（ADI）を設定しました。</p>